

Artfull

うちうら

[発行]
 内浦公民館
 〒919-2351
 高浜町山中104-4-2
 TEL.0770-76-2007
 FAX.0770-76-2008
 E-mail
 uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

バドミントン教室

バドミントン教室は毎月
 第2土曜日に開催します!



令和8年4月11日(土) <<午前>>

内浦公民館2階多目的ホールでバドミントン教室を開催しました。講師は今村文彦さん。ラケットの握り方を教わったあと、ラケット使って風船を落とさないようにする練習やビニール袋の旗をめがけて打つ練習をしました。最初は上手く打てなかった参加者も最後にはいい音を響かせていました。

古きものリメイク教室



令和8年4月11日(土) <<午後>>

内浦公民館1階会議室で古きものリメイク教室を開催しました。講師はやまぼうしの会のみなさん。参加者の各テーブルを回りながらリメイク術のご指導をしていただきました。参加された皆さんも積極的に質問しながら裁縫技術を学んでおられました。色柄や生地によって雰囲気が変わる服なので、出来上がりがとても楽しみです。

次回の開催は6月
 13日(土)です

- 開館時間 午前8時30分～午後10時
 - 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。
- <6月の休館日> 1日(月)・8日(月)・15日(日)・21日(日)・22日(月)・29日(月)

春のハイキング～高浜漁港に行ってみよう～



令和8年4月13日(月)
春のハイキングを開催しました。いつもとは違う景色を楽しみながら海岸道路を歩き、高浜漁協・UMIKARA・城山公園をめぐるしました。漁協ではクレーンでのマグロの水揚げやセリの様子を見学し、城山公園では桜と明鏡洞の景色を満喫しました。高浜町の魅力を再発見出来た日でした。



見学スペース(2階)からセリの様子を見学しました。



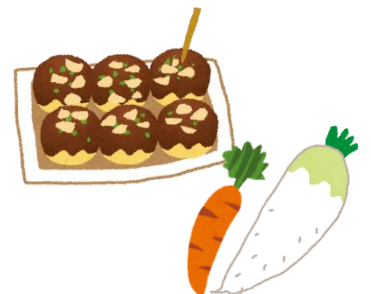
地域ニュース



4月5日(日) お花見会<あおば憩いの家&日引ふれあい広場>



桜の木の下で難波区、小黑飯区、音海区の皆さんが机を囲んでお食事とカラオケを楽しまれました。この桜は樹齢90年ほどになるそうです。満開の桜と青空が最高でした(^^♪



日引ふれあい広場の体育館を会場に、以前から交流のある舞鶴高専OBの山村さんが、ドローン撮影した美しい風景を交えながら日引を良くする提案発表をされました。その後、カラオケとお楽しみ抽選会で盛り上がりました(^^♪



今回は 鈴木俊貴 著「僕には鳥の言葉がわかる」です。

鳥が言語や文法を持つことを世界で初めて明らかにした動物言語学者の東大先端科学技術センター鈴木准教授のエッセイです。

鈴木さんは1歳半頃から父が作った小さな網で虫を追いかけしていました。人以外の生き物が何を考えているのかを知りたくて、高校生になり、お年玉をためたお金で双眼鏡を買い、鳥の観察を始めます。大学で動物行動学を学び、3年になり、卒業研究のテーマをさがしていたところ、軽井沢でのフィールドワークを通じ、シジュウカラの鳴き声が状況によって使い分けていることに気が付き、これをテーマとし分析を始めます。

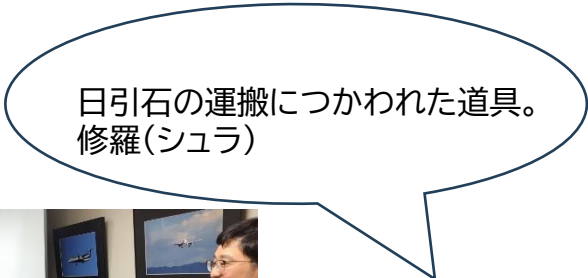
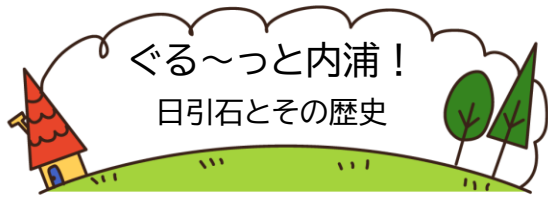


小鳥が餌場で鳴く理由 シジュウカラなら「チヂチヂ」、コガラなら「ディーディー」誰かがまいたヒマワリの種やピーナッツ、たくさん実った木の実、まとまった餌を見つけると騒がしく鳴く。仲間を呼ぶために鳴いているのでは？これに気付いたのは冬。食べ物が枯渇する厳しい季節に、餌を独り占めするほうが良さそうなのに、みんなを呼ぶことをするのだろうか。生き物は原則として、自身の利益を最大化するよう行動すると考えられている。自分の得になるようふるまう個体のほうがたくさんの子を残し、利己的な性質（遺伝子）を持つ個体の方が長い進化の歴史の中で多数派になる。との考えに矛盾しているのでは？

鈴木さんは軽井沢の森に3か月間滞在して観察を続けます。適当な切り株にヒマワリの種を入れた皿を置き、マイクやレコーダーを設置すると、やがてコガラが餌を見つけ、「ディーディー」と鳴きだし、コガラやシジュウガラ、ヤマガラなどが次々に集まってきて、一粒ずつ運んでいく。別の場所に餌を置く⇒観察する⇒片づける これを繰り返す。多くの場合それぞれが鳴くのは一人で餌を発見した時なのだ。他の鳥が集まると鳴くのをやめて餌をつつき始める。今度は録音した鳥の声だけを流してみる。やはり鳥たちは集まってきた。これらの鳴き声は「集まれ」の言葉なのだ。鳥たちは餌をつつくとき、頻繁に空を見上げる。これは鷹などの天敵を警戒しているのだ。仲間が多いほど空を見上げる回数が減り、お互いの警戒時間を減らしているのだ。集団で警戒行動を分担しているのだ。

シジュウカラは文を作る 「ピーツピ・ピーツピ、チヂチヂ」設置したシジュウカラの巣箱に近づくと激しい鳴き声が聞こえてきた。ハシブトガラスやオオタカなどの天敵が近づくと「ピーツピ」「警戒しろ」と仲間知らせるのだ。「チヂチヂ」は集まれという意味だ。シジュウカラの群れにモズが飛んできた。モズはヘビやトカゲ、スズメ等を襲う猛禽類だ。「ピーツピ・ピーツピ、チヂチヂ」一羽のシジュウガラが鳴くと、多くの仲間たちが集まってくる。モズを取り囲んで威嚇し追い払う。二つの鳴き声を使って文を作っているのだ。従来「鳥は感情で鳴く」とされていた常識を覆し鳥が言語によってコミュニケーションを取っていることを証明したのです。

鈴木さんは、「西洋では人間が生き物を支配する特別な生き物だと、自然と切り分けるが、日本では自然と共生する文化を大切にしてきた。サルに文化があることを見つけたのも日本人だ」と言います。一方で「今、ネットで検索して情報を得ることばかりし、身近な自然を体験する機会が減っている」と危惧されています。観察日誌や実験方法、自身で書いたイラストなど軽快な文書で語っています。是非、子どもに読んで欲しい一冊です。外に出て鳥の声を聴いてみたくなること請け合いです。



令和8年4月18日(土)

内浦公民館1階会議室で、ぐる~っと内浦!を開催しました。講師は倉田尚明さん。日引石で作られた石造物の種類や時代背景などを教わりました。北は青森県、南は鹿児島まで全国広範囲に分布している日引石はどのように流通していったのか、知れば知るほど興味深いお話でした。最後は、日引石製狛犬や道具、音海石製石仏を自由に見て、参加された皆さんが話し合える交流の場になりました。



内浦公民館講座のお知らせ

参加者募集中

お申込み・お問合せは
76-2007 内浦公民館まで

*バドミントン講座 講師 今村文彦さん
5月 9日(土) 10:00~12:00



*ヨガ教室 講師 アプリットサンマイル・Rinaさん
<1回目> 5月16日(土) 10:00~11:00
<2回目> 5月31日(日) 13:30~14:30



*元気あつぷ生き生き倶楽部
5月19日(火) 13:30~15:00



*3B体操教室 講師 藤内幸子さん
5月22日(金) 14:00~15:00



*アウトドア教室 講師 高田慎平さん
5月23日(土) 9:00~12:00



*自然とつながる四季のセルフケア講座 講師 山崎慶子さん
5月24日(日) 13:30~14:30



*麻雀教室 講師 石本祥次さん
5月27日(水) 10:45~12:15

